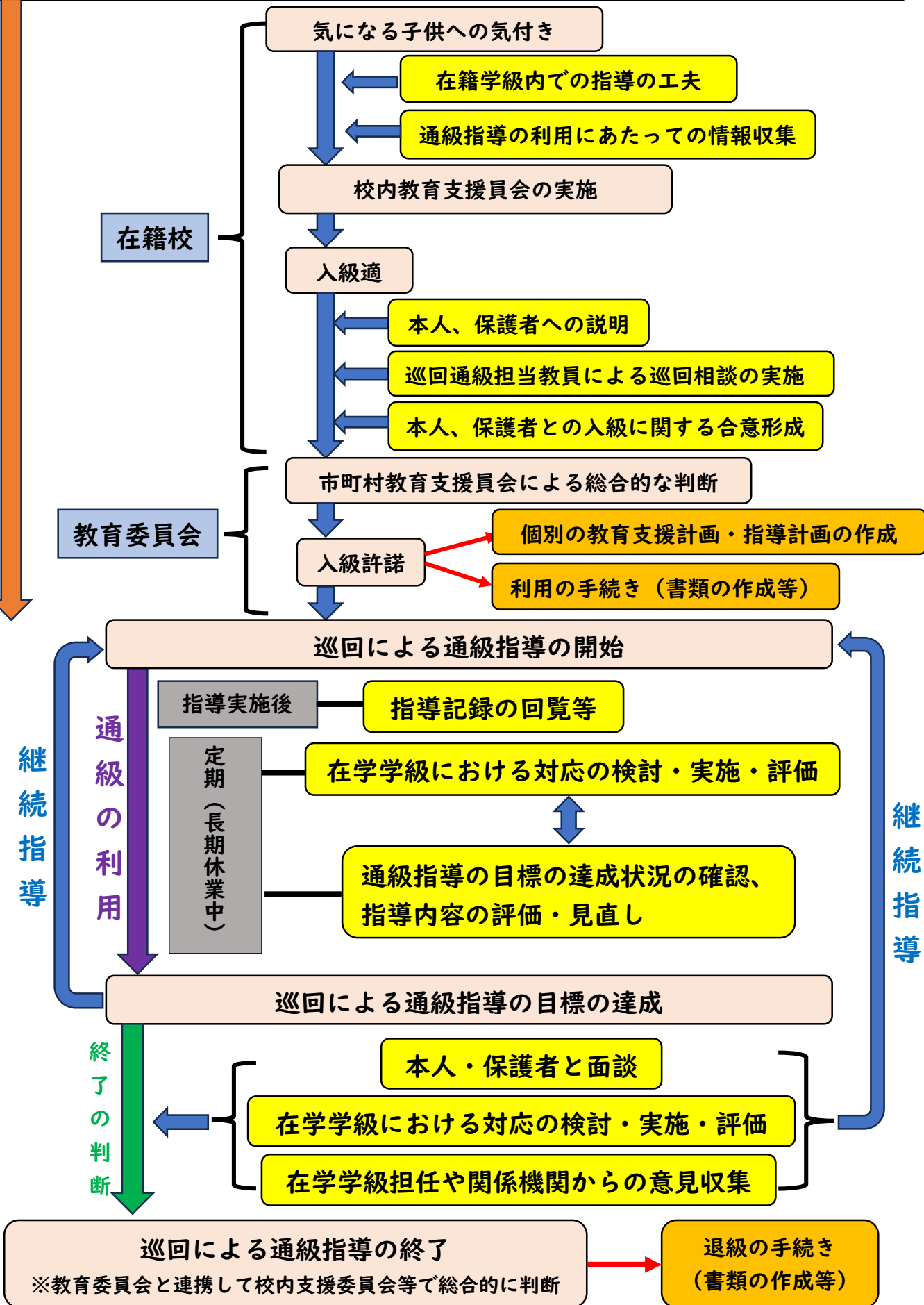


「巡回による通級指導」の流れ Ver02 (R8.4.1 改訂)

利用の検討



継続指導

通級の利用

終了の判断

継続指導

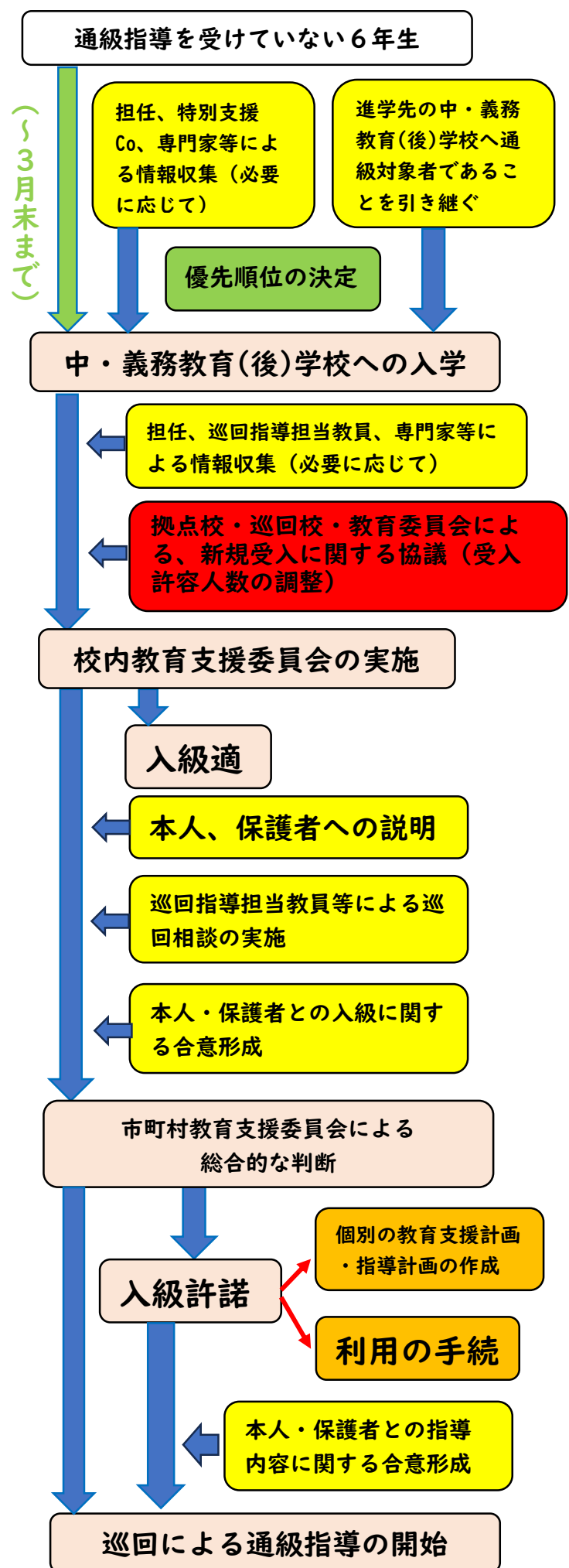
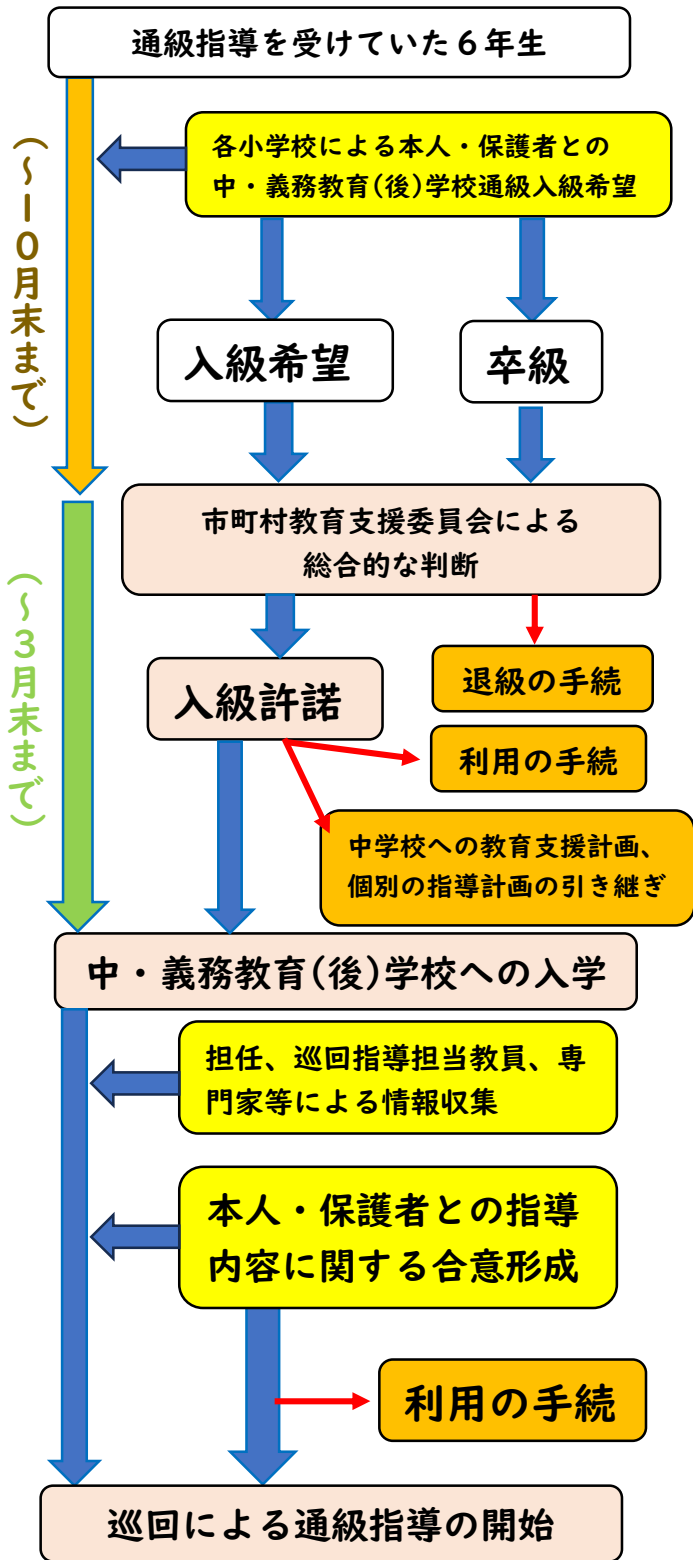
巡回による通級指導の終了

※教育委員会と連携して校内支援委員会等で総合的に判断

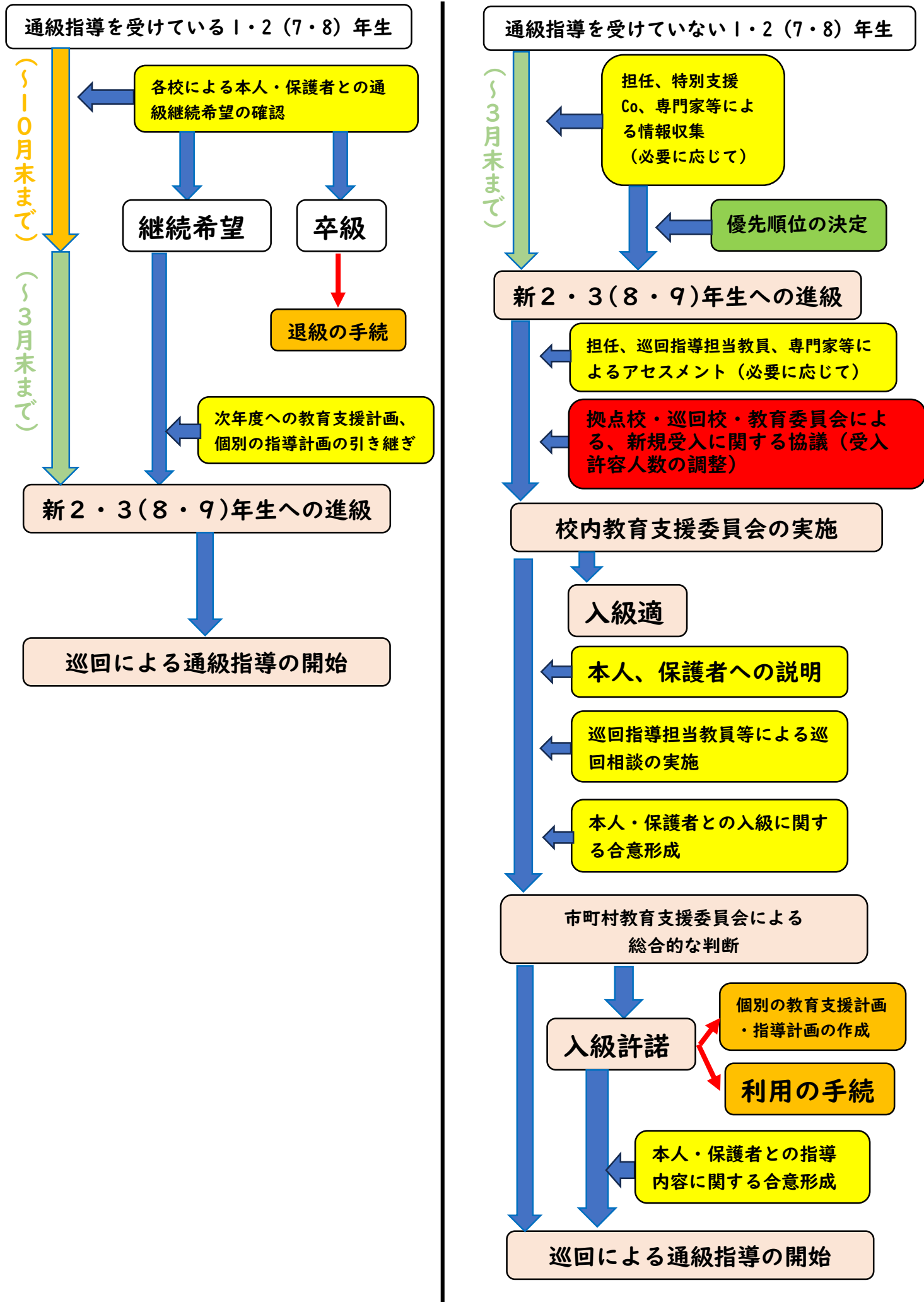
退級の手続き
(書類の作成等)

〈新1年生〉巡回による通級指導

開始までの流れ Ver02(R8.4.1)



<新2・3（7・8）年生用>巡回による通級指導開始までの流れ Ver02(R8.4.1改訂)



実態把握チェックシート

学年・学級	ふりがな	〇〇〇〇 〇〇〇〇
〇年〇組	氏名	〇〇 〇〇

学校名	〇〇市立〇〇中学校
記入日	令和 年 月 日
実施者	〇〇 〇〇

・指導計画年間とリンクしています

		1	2	3	値
		年齢相 当であ	時々ある	よくある	
1 聞く・話す	① 聞き間違いや聞き逃しが多く、すぐ忘れる。	●	○	○	1
	② 個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい。	●	○	○	1
	③ 相手の話している言葉が理解できない。(特に指示語や単語など)	●	○	○	1
	④ 話合いがうまくできない。(少し複雑な会話の理解が困難である)	●	○	○	1
	⑤ 適切な速さや声の大きさと話すことが難しかったり、言葉に詰まったりする。	●	○	○	1
	⑥ 話すときに文法的な間違いをすることが多い。	●	○	○	1
	⑦ 話すときに使う語彙の数が少ない。	●	○	○	1
	⑧ 思いのまま話すなど、筋道を通してわかりやすく話すことが難しい。	●	○	○	1

		1	2	3	値
		年齢相 当であ	時々ある	よくある	
2 読む・書く	① 形の似ている文字を読み間違える。	●	○	○	1
	② 文中の語句や行を抜かしたり、繰り返し読んだりする。	●	○	○	1
	③ 単語を一語のまとまりとして読めない。促音や拗音を一音として読めない。	●	○	○	1
	④ 文章の内容を読み取ることが、苦手である。	●	○	○	1
	⑤ 漢字のへんやつくりを入れ替えたり、細かい部分を書き間違えたりする。	●	○	○	1
	⑥ 「く」と「し」、「し」と「つ」などを間違えて書いたりする。	●	○	○	1
	⑦ 文字の視写をすることが難しい。また、独特の筆順で書く。	●	○	○	1
	⑧ 思いのまま書き、筋道を通った文章を書くことが難しい。	●	○	○	1

		1	2	3	値
		年齢相 当であ	時々ある	よくある	
3 計算する・推論する	① 数の意味や新し型についての理解が難しい。	●	○	○	1
	② 簡単な計算が暗算でできない。	●	○	○	1
	③ 計算するのにとても時間がかかる。	●	○	○	1
	④ 答えを得るのにいくつかの手続きを要する、問題を解くのが難しい。	●	○	○	1
	⑤ 量を表す基本単位の理解や単位の変換が難しい。	●	○	○	1
	⑥ 図形を描くことや表・グラフから数量間の関係を理解することが難しい。	●	○	○	1
	⑦ 十分に考えたり、順序立てたりして、課題を解決することが難しい。	●	○	○	1
	⑧ 事物の因果関係を理解することが難しい。	●	○	○	1

		1	2	3	値
		年齢相 当であ	時々ある	よくある	
4 行動	① 気が散りやすく、勉強等で、細部への注意を払わなかったり、不注意間違いをする。	●	○	○	1
	② 学習課題や活動で注意を集中し続けることが難しく、課題を完了できない。	●	○	○	1
	③ 面と向かって話しかけられているのに、聞いていないように見える。	●	○	○	1
	④ 活動に必要なものをなくしたり、日々の活動の中で指示されたことを忘れてしやす。	●	○	○	1
	⑤ そわそわと身体を動かし、じっとしてられず、授業中や座っているときに席を離れてしまう。	●	○	○	1
	⑥ たびたびしゃべり過ぎたり、過度に興奮したりする。	●	○	○	1
	⑦ 質問が終わらないうちに出しぬけに答えてしまうなど、順番を待つことが難しい。	●	○	○	1
	⑧ 他の友達や教師がしていることをさえぎったり、邪魔したりする。	●	○	○	1

		1	2	3	値
		年齢相 当であ	時々ある	よくある	
5 人間関係・社会性	① 挨拶や「ありがとう」「ごめんなさい」等の感謝や謝罪の言葉が言えない。	●	○	○	1
	② 教師や大人に注意されると反発し、自分の非を認めようとしめない。	●	○	○	1
	③ 特定の物事に強くこだわり、簡単な日常の活動ができなくなることがある。	●	○	○	1
	④ 友達と一緒に過ごしたり、協力して活動したりすることが苦手で、一人でいることが多い。	●	○	○	1
	⑤ 友達とのいさかいやトラブル等が多い。	●	○	○	1
	⑥ 本人の予想に反した結果や状況になると、混乱し、気持ちの切り替えができない。	●	○	○	1
	⑦ 友達が困っていても、声をかけたり、助けたりすることができない。	●	○	○	1
	⑧ 学級の決まりを守ることができない、	●	○	○	1

1	2	3	4	5
聞く・話す	読む・書く	計算・推論	行動	人間関係
16.0	16.0	16.0	16.0	16.0

特別の教育課程の編成に係る協議シート		ふりがな	○○○○ ○○○○
		氏名	○○ ○○
特別の教育課程の編成に係る児童生徒の実態	好きなこと得意なこと(強み)	<ul style="list-style-type: none"> 運動が好きで、進んで身体を動かしている。 視覚からの情報を理解することが得意である。 	
	生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> 苦手な食べ物が多く、食事の際には配慮が必要である。 不安を感じたり、緊張したりすると、トイレに行く回数が増える傾向がある。 	
	人とのかわわり	<ul style="list-style-type: none"> 陰い表情・口調で話してしまうことが多く、相手に動揺を与えてしまうことがある。 一方的に話してしまうことが多く、相手の話を聞くのが苦手なため、会話が成立しにくい。 	
	心理的な安定	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちが落ち着かなくなった時に、自らの行動を抑制することが難しく、他者に対して荒々しい行動に及んでしまうことがある。 	
	コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 困ったことに直面した時に、他者に援助を求める方法が身についていない。 感情などを言葉にして話すことが難しく、相手に意思が伝わらないことが多い。 	
	社会性	<ul style="list-style-type: none"> 場の雰囲気察して、行動したり発言したりすることが苦手である。 気になることや物があると、夢中になりすぎてしまう傾向がある。 	
	身体機能等	<ul style="list-style-type: none"> 聴覚から情報を得ることは苦手である。 	
実態把握チェックの結果			
希望・願い	本人	[現在]	みんなと仲良くしたい。
		[将来] ○年後	就職してお金を稼ぎたい。
	保護者	[現在]	趣味を見つけて欲しい。
		[将来] ○年後	長く続けられる仕事について欲しい
合理的配慮	配慮の内容	評価	継続する ・本人保護者と合意形成した配慮事項を記入する。 ・毎年度、内容については本人保護者に確認するようにし、必要があれば変更をしていく。

・支援の方策や配慮事項を考えるにあたって、好きなこと得意なこと(強み)は、把握する必要がある

・あてはまる(必要な)項目だけを記入する。無理に全項目埋める必要はない。個別の教育支援計画も参考にする。

・実態チェックシートの結果が反映される。

・毎年度、面談等で本人及び保護者に聞き取り記入する。



指導の内容	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
※選択する項目の内容を参考に、個別・具体的に内容を設定する	<input type="checkbox"/> 1-(1)	<input type="checkbox"/> 2-(1)	<input type="checkbox"/> 3-(1)	<input type="checkbox"/> 4-(1)	<input type="checkbox"/> 5-(1)	<input type="checkbox"/> 6-(1)
	<input type="checkbox"/> 1-(2)	<input type="checkbox"/> 2-(2)	<input type="checkbox"/> 3-(2)	<input type="checkbox"/> 4-(2)	<input type="checkbox"/> 5-(2)	<input type="checkbox"/> 6-(2)
	<input type="checkbox"/> 1-(3)	<input type="checkbox"/> 2-(3)	<input type="checkbox"/> 3-(3)	<input type="checkbox"/> 4-(3)	<input type="checkbox"/> 5-(3)	<input type="checkbox"/> 6-(3)
	<input type="checkbox"/> 1-(4)		<input type="checkbox"/> 3-(4)	<input type="checkbox"/> 4-(4)	<input type="checkbox"/> 5-(4)	<input type="checkbox"/> 6-(4)
	<input type="checkbox"/> 1-(5)			<input type="checkbox"/> 4-(5)	<input type="checkbox"/> 5-(5)	<input type="checkbox"/> 6-(5)
指導時間	月○単位					
教育課程	<input type="checkbox"/> 障害に応じた特別の指導を学校の教育課程に加える。 <input type="checkbox"/> 障害に応じた特別の指導を教育課程の一部に替える。					

巡回による通級指導 個別の指導計画(年間) 【自立活動編】		ふりがな	○○○○ ○○○○		
		氏名	○○ ○○		
学校名	○○市立○○中学校	学級	○年○組	担当者	○○ ○○

個別の教育支援計画より

好きなこと 得意なこと (強み)					
生活習慣					
人とのかかわり					
心理的な安定					
コミュニケーション					
社会性					
身体機能等					
希望・ 願い	本人	[現在]			
		[将来] [○年度]			
	保護者	[現在]			
		[将来] [○年度]			

・各校で作成している、個別の教育支援計画を添付する。
※個別支援計画が作成されていることが前提で、個別の指導計画が作成される。新規についても、まずは支援計画を作成すること。

収集した情報を自立活動の区分に即して整理

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
・運動が好きで、進んで身体を動かしている。	・気持ちが落ち着かなくなった時に、自らの行動を抑制することが難しく、他者に対して荒々しい行動に及んでしまうことがある。	・険しい表情・口調で話してしまうことが多く、相手に動揺を与えてしまうことがある。 ・一方的に話してしまうことが多く、相手の話を聞くのが苦手なため、会話が成立しにくい。	・聴覚から情報を得ることは苦手である。 ・視覚から情報をとらえて理解することは得意である。	・運動が好きで、進んで身体を動かしている。	・困ったことに直面した時に、他者に援助を求める方法が身につけていない。 ・感情などを言葉にして話すことが難しく、相手

・上の欄に書いてある内容を、6つの区分に分ける。
・コピーはやりにくいので、手入力する。

指導目標	一方的に話すことを調整しながら、伝えたいことを整理して話すことができる。
------	--------------------------------------

指導目標を達成するために必要な項目

1 健康の保持	2 心理的な安定	3 人間関係の形成	4 環境の把握	5 身体の動き	6 コミュニケーション
(1)生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。 (3)身体各部の状態の理解と養護に関すること	(3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。	(3)自己の理解と行動の調整に関すること。	(2)感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。		(4)コミュニケーション手段の選択と活用に関すること

・指導目標に係る内容だけを6区分26項目の中から選択する。

今年度の指導内容

関連する項目	関連する項目	関連する項目
4と6	3と4と6	2と3
相手に伝えなければならない事柄を、いつ、どこで、どうしたいか、などの項目を示した資料を見ながら順番に話す。	日常の会話の様子を動画で撮影し、省みるようにすることで、相手の話を聞きながら話したり、穏やかな口調や表情で相手に接したりするよう意識する。	気持ちが不安定になった時には、その場を一時離れ、身体を動かさずなどして発散する。

・複数の項目と関連させた指導内容を検討し、1～3つ記入する。

巡回による通級 個別の指導計画
【自立活動編】

		ふりがな	○○○○ ○○○○		
		氏名	○○ ○○		
学校名	○○市立○○中学校	学級	○年○組	担当者	○○ ○○

中長期目標	・集団生活のルールやマナーを理解し、周りと協力して学校生活を送ることができる。			
	1学期	2学期	3学期	
短期目標	・自分の特性を理解し、長所を生かした職業選択を意識する。 ・自分に合った学習方法を身につけ、赤点を取らないようにする。			
主な内容	・楽しい時や悲しい時、困った時など自分の気持ちと場面に合った表情を理解する。 ・わからないことやできないことがあったら、適切な人物等に質問をするとよいことを理解する。			
指導方法及び留意点	・自分の得意なことをピックアップするなど、自己分析をサポートする。また、人と適切なやりとりをする方法を具体的に伝える。 ・学習で苦勞していることも、工夫すればうまくいくかもしれない事を具体的な事例から伝える。		<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>・主語は教師。 ・目標を実現するために教師が行う「学習方法」「支援方法」「学習環境の設定」「学習活動の工夫」等。</p> </div>	
評価	・1, 2遅刻を反省し学校求人就職するため、努力することができた。また、進路実現に向けて、追認考査や定期考査に意欲的により組み、よい結果を得ることができた。頑張れば結果がついてくる事を学べたことは大きな成長につながった。		<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>・「○○できるようになった。」「○○する様子が見られた。」等、目標に対する達成度や取組の様子を具体的に記述する。 ・有効だった支援方法や手立て、課題等を記述すると、次の指導につながる。</p> </div>	
指導時間	8			

1 健康の保持

- (1)生活のリズムや生活習慣の形成に関する事。
- (2)病気の状態の理解と生活管理に関する事
- (3)身体各部の状態の理解と養護に関する事
- (4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事
- (5)健康状態の維持・改善に関する事

2 心理的な安定

- (1)情緒の安定に関する事。
- (2)状況の理解と変化への対応に関する事。
- (3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事。

3 人間関係の形成

- (1)他者とのかかわりの基礎に関する事。
- (2)他者の意図や感情の理解に関する事
- (3)自己の理解と行動の調整に関する事。
- (4)集団への参加の基礎に関する事。

4 環境の把握

- (1)保有する感覚の活用に関する事。
- (2)感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事。
- (3)感覚の補助及び代行手段の活用に関する事。
- (4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事
- (5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。

5 身体の動き

- (1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事
- (2)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事
- (3)日常生活に必要な基本動作に関する事
- (4)身体の移動能力に関する事
- (5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事

6 コミュニケーション

- (1)コミュニケーションの基礎的能力に関する事
- (2)言語の受容と表出に関する事
- (3)言語の形成と活用に関する事
- (4)コミュニケーション手段の選択と活用に関する事
- (5)状況に応じたコミュニケーションに関する事。

巡回による通級指導 指導の記録 (〇月)

氏名		
令和〇年〇月〇〇日 (〇)		
活動内容		
①		
②		
③		
④		
担当の所感		
		保護者コメント
		保護者印
令和〇年〇月〇〇日 (〇)		
活動内容		
①		
②		
③		
④		
担当の所感		
		保護者コメント
		保護者印

令和〇年〇月〇〇日 (〇)

活動内容

- ①
- ②
- ③
- ④

担当の所感

保護者コメント

保護者印

令和〇年〇月〇〇日 (〇)

活動内容

- ①
- ②
- ③
- ④

担当の所感

保護者コメント

保護者印

通級指導の振り返り（〇月）

本人の感想

担当からの励まし

担任からの励まし

家庭から

巡回による通級指導 報告書

学年	組	氏名
3	3	

校長	教頭	特支 Co	学年主任	担任

学期の目標	
-------	--

1. 巡回による通級指導教室の指導内容の記録 令和〇年〇〇月〇〇日 ~ 〇〇月〇〇日

月日、校時	指導内容	生徒の学習・活動の様子
〇〇/〇〇 (〇) 〇校時		
〇〇/〇〇 (〇) 〇校時		
〇〇/〇〇 (〇) 〇校時		
〇〇/〇〇 (〇) 〇校時		

2. 通級指導担当教員から担任（各教科担任も含）へ、授業中に配慮してほしい点など

--

3. 担任（各教科担任も含）から、普段の授業における生徒の様子など

--

